

早池峰山&神楽ツアー

2014年7月19・20・21日 リーダー:伊藤松雄



心細やかな接待うれしかった。……有難うございました。

埼玉ではなかなか感じられないものが

今回の旅で一番嬉しく、印象に残っているのは、我々のために宿泊、料理、ガイド、神楽の舞、全てにおいて暖かくもてなしてくれた真心であります。それは、埼玉ではなかなか感じられないものになっていて、岩手に来て本当に良かったと思います。本当に素晴らしい地域であり、人であり、それこそ、最大のアピールポイントだと思います。ぜひこれからも自分達の地域、文化、自然、人の暖かさに自信をもってがんばって下さい。本当にありがとうございました。 《市川克也》

あまりに感激して涙が出そう

私達の為に皆さんの優しい気持ちが伝わりました。あまりに感激して涙が出そうになりました。大迫が大好きになり、早池峰神楽強い印象受けました。心から皆様に感謝します。ありがとうございました。 《伊藤典子》

一生の宝物、楽しい思い出のページ

大償神楽を目の前で見て、45分もの長い時間を舞った山神舞の舞い手の息づかいと汗がしたたる様子。本当に元気と感動をいただきました。又、権現舞も遊友の仲間たちの健康を祝って頭をかじってもらい本当に良かったです。大迫の人々の暖かい思いやりにつつまれた3日間でした。宿を提供していただいた藤原さんにも本当に感謝致します。おそばも、おしんこもおいしかった!!

皆さんありがとうございました。一生の宝物、楽しい思い出のページになりました。ありがとうございました。

《伊藤ユリ子》

最高のおもてなしに胸がつまった

突然の24人がお世話になり、最高のおもてなしをして下さって胸がつまりました。ありがとうございました。

《梅沢ミチ子》

たましいを 揺さぶる神楽 永遠にと願う。

《佐藤きよみ》

埼玉でお会いしましょう

①早池峰山のガイドありがとうございました。登山を楽しむ方法が一つ増えました。②大切なご自宅を利用させていただき感謝です。私達にはなかなかできない事なんです。埼玉でお会いしましょう。 《品川弘》

心温まるもてなしにウルウル

神楽10年前より4回見せていただきました。今回、目の前で見て、踊り手の息使いまで伝わるようで大感激しました。84~30代の方々。伝統を受けつぎすばらしい!後の交流会も心温まるもてなしにウルウルしました。遊友会長の故郷を思う気持ち、人脈の広さにも感激。

《知名》

ホテルと星のきれいな大迫

大迫 ①ホテルと星のきれいな村。②宮沢けんじさんの童話のさし絵にえがかれたようなジオ先生。③神楽の方々 不思議な踊り①～③にありがとうございました。

《豊島泰》

心細やかな接待うれしかった

大迫の皆様ありがとうございました。十年前と明治神宮と今回の神楽、本当に感激して見ました。皆様の神楽に対する気持ちが伝わってきます。大勢で押しかけたのに心細やかな接待うれしかったです。有難うございました。《西谷》

2日間お世話になった藤原邸にて。↓



ふるさとに帰ったような心地

今回の山行に当たり、心よりやさしい笑顔と心づくしのおもてなしを受け、ふるさとに帰ったような心地よい時をすごさせて頂き感謝いたしております。一生忘れません。私も少しでも近づけるようがんばりたいと思いました。みなさんも、ずーっとお元気でまた会える日、来ることを祈っております。《浜崎》

全て心に残るおもいでに

早池峰の皆さんへ。今回の旅では、温かいおもてなしを頂き、誠にありがとうございました。賢治ワールドの奥の深さから神楽での後援会の連携の良さ。全て心に残るおもいででした。本当にありがとうございました。《松浦広展》

素晴らしい日本誕生の地

感謝の心。初の早池峰感動の出会い。大償神楽永遠の舞い。大迫 心のふれあい温かい心。大償神社で永遠の誓い。何と素晴らしい日本誕生の地。《松島毅》

家を提供した藤原さんに感謝

早池峰・神楽ツアー2泊3日と、山に登り、神楽を単に味わうツアーと簡単に考えてバスに家内と乗りました。初日の浅沼さんの実直な人柄から、次々に出る早池峰山と宮沢賢治の広大なロマンを聞き、私の心のスイッチが入りました。早池峰山の花を自分の庭と思い、3千数百回登山感動。伊藤さんの知人ならと家族同様に家を

提供してくれた藤原さん。3,11に伊藤さんと知り合った工藤さんが、観光組を1日案内してくれ、本当にお世話に成り感謝しております。本当にお世話に成りました。

《村田正博》

神楽の伝統が続くことを願う

皆様が一生懸命な神楽舞見えていて心に伝わってきます。これからも、この伝統が続きますよう願っています。

《佳》

なつかしい古郷の心を味わう

なつかしい古郷の心を久し振りに味わいました。又触れてみたい心、訪ねてみたい所になりました。本当に有難うございました。《山本》



↑権現の舞の1シーン

ふるさとは俺の自慢、宝もん!

ヒメコザクラのお母ちゃんを初め、賢治の「真実」を教えていただき、早池峰の案内、ワインまでくれた浅沼さん。大償神社見学後、接待し、また貴重な本を提供していただいた別当家の佐々木さん。家を開放し、南部煎餅に手書きのメッセージを寄せてくれた秀基さん。総出で神楽を演じてくれた神楽衆の皆さん、本当にありがとうございました。

また、お酒2本にスイカ。観光組にはアイスや本などを差し入れてくれたワオ(工藤和雄)さん。ビール1ケースに刺身盛り3皿も差し入れてくれた盛男さん。ワイン樽2本も差し入れをしていただいた輝雄さん、ワインシャトーの久夫さん。お新香におつまみを提供してくれた輝雄さんや、台所でお料理を作っていただいた神楽後援会の皆さん。

神楽公演出席をとりやめて見送りをいただいた秀基さん、輝雄さん。前夜、宿舎での交流会に参加して、見送りをしてくれた浅沼さん。そして、美味しい韃靼そば!

皆様の心こもったおもてなしに、心からお礼と感謝を申し上げます。「俺、大迫で生まれ、内川目で育ったこと幸せです。美しい山河と優しい人々が暮らす故郷は俺の宝です」《松》

7月山行「早池峰山」に参加して／戸邊茂雄

7月19日(土)～21日(月)「早池峰山」山行に参加しました。早池峰山は岩手県にある標高1,917mの山です。北上山地の最高峰で日本百名山、新日本百名山、花の百名山、新・花の百名山及び一等三角点百名山に選定されています。山頂は岩手県の北上高地のほぼ真ん中、宮古市、遠野市、花巻市の3つの市の境界となっています。また、早池峰山は5億年以上前に海から盛り上がった蛇紋岩の山で、この蛇紋岩が貴重な固有種・希少種の高山植物を育み、日本国内で屈指の高山植物が咲き誇る山でもあります。



そして、今回の山行は登山の他に神楽の鑑賞や記念館、テーマパークの見学なども行う予定で観光ツアーでもあります。

7月19日(土)朝6時にせんげん台、6時半に春日部で合計24名の参加者を乗せて出発しました。今回のドライバーは山口さんです。天気は朝出かける時から小雨がばらついており、天気予報も雨です。7時丁度に久喜ICから東北自動車道に入り、花巻ICから高速を降りたのが丁度13時でした。その後は一般道を走って13:30に花巻市大迫(おおはさま)町の「ガラス工房・森のくに」に到着、そこで昼食となりました。野菜を中心にした沢山のおかずでご飯をお代わりして頂きました。昼食(13:30～14:35)の後は「早池峰と賢治」の展示館に向かいました。14:40～15:55まで展示館で明日の登山ガイドをしてくださる浅沼さんに説明して頂きましたが、展示品と話の内容には驚かされるものがたくさんありました。次に「ステイヒル・ぶどうの湯」で入浴(16:00～16:40)しました。その後、近くのスーパーでお酒と食料を買った後、大償(おおつぐない)神社を見学し、別当の佐々木さん宅でお茶をご馳走になりながら大償神社、早池峰神楽などについてのお話を伺って18:30に今回2泊お世話になる宿舎の藤原さんの古民家に着きました。藤原さんは大償神楽後援会の幹事をされている方です。宿舎に着いてからは、古民家のご主人の藤原さん、明日登山をしないで観光する観光組(4名)のガイドをしてくださる工藤さんを交えて夜遅くまで話に花を咲かせて飲みました。

7月20日(日)、寝不足と二日酔いでしたが朝4時半に宿舎を出発して早池峰登山に向かいました。登山コースは当初河原の坊コースを登って、小田越コースを下りてくる予定でしたが、悪天候(雨)のため往復とも小田越コースを利用する事になりました。5:10に岳に着いて、5:30発のシャトルバスで岳から小田越に向かいました。6:10に小田越から早池峰山登山の開始です。既に3,200回以上も登っている大ベテランの浅沼さんをリーダーに21人のパーティーです。雨ですので初めから雨具を着けての登山です。そして蛇紋岩は滑りやすいので、転ばないように気を付けて登りました。早池峰山の花を代表するハヤチネウスユキソウをはじめ多くの高山植物を楽しむ事ができましたが、雨のため景色は眺望できませんでした。8:50に頂上に着きましたが、写真を撮ったり、食事したりで20分ほどで下山開始です。下山が終了したのが11:20でした。小田越11:42発のシャトルバスに乗り、12:05に岳に到着しました。その後は、「ワインハウス湖畔」に向かい早池峰ダム(早池峰湖)を眺めながら昼食、「ステイヒル・ぶどうの湯」で入浴してから早池峰神楽を鑑賞すべく神楽の館に向かいました。昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成21年にユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽を本場の地で、貸し切りでの鑑賞です。「鳥舞」、「八幡舞」、「三

番舞」、「山の神舞」、「権現舞」等を17:00～18:50まで舞って頂きました。そして、その後は神楽衆と一緒に直会(なおらい)です。ルチンが多く含まれている韃靼蕎麦を打って頂き、地元の野菜や山菜などでお酒も話も弾みました。神楽を舞った方の最高齢が84歳の方でしたのには驚かされました。毎日ウォーキングをしたりして健康維持に努められているそうです。神楽鑑賞の後はタクシーで宿舎に戻り、お世話になった浅沼さんや藤原さんを囲んで酒盛りが続きました。その頃には昼間降っていた雨もすっかり止んでいて、宿舎の前を流れる沢でホテル観賞、夜道の散歩もしました。夜空には満天の星が輝いておりまし

た。昼間、山の景色が眺望できなかった分、満天の星空は感激でした。

7月21日(月)、昨日の雨が嘘のような良い天気朝を迎えて目を覚まししました。顔を洗って外にでて、朝の散歩と洒落込みました。山ユリや桔梗などの花がたくさん咲いている沢沿いをカメラ片手に歩きました。岩魚釣りも試してみましたが、残念にも釣れませんでした。7:50に宿舎を出発し、8:00から「ガラス工房・森のくに」で朝食を頂き、岩手県奥州市江刺区にある歴史公園「えさし藤原の郷」に行きました。10:30～11:50までと全てを見学するほどの時間はありませんでした。古代から平安時代の東北の歴史に触れることが出来ました。これで今回の山行ツアーは全て終了し、12:24に水沢ICから高速に乗って一路春日部に向かいました。事故等で途中通行止めもあったりして、16:35に郡山JCTを通過、18:33に栃木ICで高速を降り、19:10に佐野藤岡ICで再び高速に乗ったりして19:35に久喜ICを降り、20:10に春日部に帰ってきました。せんげん台には20:40着です。せんげん台組の内、私を含めた3名はいつもの中華食堂で反省会をして自宅着が22:40でした。今日は朝バスに乗ってから直ぐにお酒を飲みだしたので12時間くらい飲んでいた事になります。

今回は山行と観光の両方でしたが、何よりも人とのふれあいを感じた旅でした。宿舎を提供してくださった藤原さん、山のガイドをしてくださった浅沼さん、観光ガイドをしてくださった工藤さん、神楽衆と関係者の方々、そば打ちや料理を作ってくださった地元の方々、レストランのおばちゃん方、宿舎に差し入れをしてくださった伊藤会長の同級生の方等々、すばらしい「おもてなし」に感謝、感謝…です。これら全ては伊藤会長のお蔭で実現した旅で、伊藤会長ほんとうにありがとうございました。また首に袋をぶら下げて3日間会計係を頑張ってくださった品川さん、バスの中でのリクリエーションを担当してくださった市川さんと知名さんははじめみなさんありがとうございました。遊友バンザイです。



↑頂上手前の難所、ハシゴ場 8時27分

ハヤチネウスユキ草を探して／品川 弘

あっという間の三日間でした。このスピード感で早池峰山の雲が吹き飛んで楽しかったなー!

7月19日6時20分春日部を出発、花巻インターまでのロングドライブでした。事故渋滞の影響を受け30分送れの到着。最初の訪問地「ガラス工房」のレストランで昼食をとりました。地の物に手をかけたたくさんの小皿に舌つみいきなりの小感激でした。ここでは今回のツアーの盛岡観光組(4人)の案内をお願いしている

工藤さんと待ち合わせ。ソフトな雰囲気の方でこの方なら観光組も多いにエンジョイできるだろうと一安心。満腹のせいか眠気が出始めた頃、次の訪問地「賢治と早池峰展示館」に到着。早池峰山のことなら何でも知っている浅沼さんにお会いしました。此处ではハヤ

↑ 登山のカイドをして頂いた浅沼さん

チネウスユキ草の貴重な話を聞いてビックリ!(内容は紙面には書けません)翌日の早池峰山登山の案内をお願いし別れました。展示館の後は早池峰神楽の元祖とも言える大償神楽の舞を奉納する大償神社を見学。神様に明日の登山の無事を祈り、お神酒を頂いた後、長年この大償神社の別当家である佐々木家でお茶を頂き一服しました。そして今回ツアーの宿舎となる藤原さんのご自宅に向かいました。私達の間では自宅に見ず知らずの大勢の人を宿泊させることは考えられません。何がそうさせているのかなと思っているとそこに伊藤会長の同級生が大量のビールとお刺身の差し入れに來られました。この時ぐらいから今回のツアーでの「驚きと羨ましさ」を感じ始めました。

7月20日4時30分盛岡観光組に見送られ岳バス停に、そこで浅沼さんと合流して早池峰山シャトルバスに乗換え、小田越登山道入口へ。いよいよ早池峰山登山のスタートです。浅沼さんを先頭に一列棒状で21人がやまの中へ入って行きました。途中で浅沼さんが大きな声で“熊さん”に朝の挨拶。しばらくすると樹林帯を抜け背の低いハイマツのエリアに。そしてそこから小さな可憐な花が見られるよう



←ハヤチネウスユキソウ(浅沼さんに間違いないと、お墨付きを頂きました)

になりました。所々で浅沼さんが説明、ハヤチネウスユキ草か?

序々に傾斜がきつくなり五合目に到着。一休みをして山頂に向かいました。途中二本の梯子を通過、やや傾斜が緩やかになり山頂に到着しました。山頂からは南に薬師岳、西に中岳、鶏頭山がくっきりと見えることを期待していました

が、残念…雨の中20分ほどの休憩の後下山しました。前日と同じステイヒルのぶどうの湯で汗を流し、ツアー第二の目的である早池峰神楽を觀賞する「神楽の館」に向かいました。早池峰神楽は当地に伝わる民俗芸能で1975年に重要無形民俗文化財の第一回の指定を受け2009年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。2時間にわたり舞が披露され、最後の「権現の舞」では権現様から我々の会員6人が頭を噛まれました。もうほとんど成長、進化が期待されない頭脳に刺激を与えて頂きました。効果のほどはいかに?

神楽終了後神楽衆をはじめ地元の方々との懇親会が行われました。地元の蕎麦打ち会の方が打った韃靼蕎麦が絶品でした。宿舎に戻り、登山や神楽の余韻を味わいながらお酒が飲み交わされ名残惜しい気持ちが湧いてきました。

7月21日早朝から女性陣が部屋の掃除をしてくれました。やはり主婦歴〇十年のベテラン、素晴らしい手際に感服です。そして7時45分藤原さんご夫婦、浅沼さんらに見送られて帰路に着きました。今回のツアーは残念ながら天候には恵まれませんでした、それを超えて素晴らしい人々との出会い、交流がなされ人生(だいふ後半にきていますが)を見つめ直すきっかけになる有意義な旅になりました。

大迫の皆様、盛岡から助っ人に来て頂いた工藤さん、賢治や高山植物の貴重な話をしてくれた浅沼さん、そして24名の宿を無償で提供してくれた藤原さんほんとうに有難うございました。そして参加者の皆さん楽しいツアーを有難う!



↑ 山頂にて。20日9時00分撮影

早池峰&観光ツアー 2日目 文学とノスタルジーの街 in盛岡 旅めぐり 元乙女グループ

朝早く山組たちが出かけた後、目がすっかり覚めてしまったので朝食に山組と同じおにぎりを一個とおかずとバナナを食べた。温かいおにぎりやサケの美味しかったこと、きっと朝早くから昨日のおばちゃま達が真心を込めて作って下さったのだと思うと頭が下がる思いでいっぱいです。ちなみに残った二個は、夜宿にて隣の方と食べましたが、美味しく頂くことができました。

そうこうしている内に私達の案内をしてくださる方が見えました。ガイドを引き受けてくださった方は、工藤和雄(通称ワ・オ)さんといってとても温厚で心優しくて細かく気を遣ってくださる方でした。

7時35分 宿を出る

8時15分 啄木望郷の丘(岩山展望台)

展望台からは、岩手山や盛岡市内のビル街、街並等全体を見おろすことができ、ここには、啄木の八頭身のかっこいい立像がある。少し下がった所に「詩の道」一周り散策するようになっており、詩碑が5m間隔に立っていた。その中に妻節子さんの句があり、分かるような気がした。「汽車の窓 はるか北に 故郷の山見えてくれれば 襟を正すも」

ここでサプライズです、ソフトクリームを乙女達にご馳走していただきました。その美味しかったこと。舌ざわりといい丁度食べ頃の柔らかさ、皆で「おいしいね」と何度も言い合い忘れられない味のひとつとなりました。また自作の貴重な焼きにんにくを下さり、元気が出そう。

次に常光寺 啄木誕生の寺

入り口の巨大な杉の太木5〜6本、樹齢などの表示もなく4人で手をつないでも



メモを片手の浜崎さんと西谷さん。

届かないくらい、唯々、黙して何年も何年も立っているのだと思うと私の心が沈む。大事に見守ってと祈るばかりです。

10時00分

石川啄木記念館

啄木が代用教員として子供達を教えていた旧洪民尋常高等小学校が敷地内に移築された。子どもと啄木の像が当時

を偲ぶことが出来た。

岩手山(2038.2m)に向かいました。車の中は常にBGMに懐かしいフォークソングが流れている。窓の外も色々説明して下さって楽しい車中でした。

11時00分

鬼清水の駐車場から歩いて登山口に向かい大勢の登山者達と挨拶を交わし岩手大学の学生さん達、行事で若者も一杯で学生さん達に「行ってらっしゃい」と見送られ、「おかえりなさい」と迎えられたりで、それは、それで楽しかった。

11時45分〜 12時35分 網張温泉

あり山荘、入浴 掛け流し湯、露天風呂もあり少人数でゆっくりでき、最高のお湯でした。

12時55分 小岩井農場

表入口は、車窓より見て横道がめずらしく砂利道で知る人のみが通る道、今はどんな山道でも舗装されているので新鮮に思えた。

テレビ等で有名な小岩井農場の一本桜、今は青々とした葉桜だけ満開に咲いた時を思いつつ誰が何のために広い大地に一本だけ植えたのだろう。後ろの岩手山と相重なり素晴らしい景観。

13時12分〜13時20分

チャグチャグうまっこの発祥の地 鬼越蒼前神社、駒形神社

百頭の着飾った馬達の行列は、鈴の音チャグチャグと響かせる。無形民俗文化財である。

車は、滝沢町(スイカ名産)を通り抜ける。

工藤さんは、詩のグループでも活躍されCDも出され作詞もされていらっしゃる、いいお声です。

12時45分 三ツ石神社

岩手の地名の由来となったことで有名。鬼が悪さをするのを懲らしめて、もう悪

さをしないと大石に手形を押させたことから岩手という。鬼がいなくなった事を喜んで踊ったのが、さんさ踊りとの事。

1時40分から1時45分

啄木、新婚の家

新婚とはいえ両親と妹との五人暮らしで、四畳半が夫婦の部屋。三週間だけ住んでいた。

13時50分

駐車場に車を止めて工藤さんお薦めの盛岡冷麺の店に向かう。一軒目、人が大勢並んでいたで通り過ぎ、歩いて二軒目の店で並んで待った。小じんまりとし、雰囲気もいい店ここ「食道園」は盛岡冷麺の元祖だそうです。メニューより激辛ラーメンを皆で注文。激辛ラーメンはラーメンと大根キムチが5人分并ぶり出てきてそれを自分の好みの辛さ分だけ入れて好きなからさで食す。麺は程よい硬さで卵、行肉、ネギ、きゅうり等シンプル、おつゆの味が美味しくて辛いのが苦手な私でもつゆも飲み完食です。

14時40分

店を出て映画館が14軒並んでいる映画通り繁華街を駐車場に向かって散策。車で旧京都通りから寺町通り他、立派な花崗岩の石垣、日本百名城の一つと知られる盛岡城。国の史跡に指定され不来方城(こずかたじょう)と呼ばれている。裁判所前に天然記念物、巨大な石の割れた所より大きい桜の木。これが有名な石割桜(樹齢360年)

龍谷寺 啄木の母方の祖父の寺

国指定天然記念物、盛岡枝垂れ桜

15時30分 盛岡出発

16時20分 ワインシャトー ワインの試飲とお買い物

16時55分 神楽の館 山組と合流

素晴らしい神楽を身近で鑑賞でき身も心も洗われ、権現様に噛んでもらい無病息災のご利益を頂いたので、これでまた長生きできそう。

「直会」神楽衆と観客との懇親会では、84歳の権現様にお目にかかり握手を何度もして頂きその握力の強さ、あのしなやかな手から、あの華奢なお姿から、只々、驚くことばかり。日頃より舞うために鍛錬を重ねてのことだと思います。

あんなに激しく舞う神楽も衣装を脱げば素朴で優しい人ばかり。宿にタクシーで二次会。朝が早かったにも拘らず皆のタフな事にびっくり。今日二日目無事終了です。

観光組も普通だとこれだけ見学するには2〜3日かかると思われるのを一日で周ることができました。これも工藤さんの裏道、近道、抜け道と緻密なガイドのお陰です。石川啄木の事を深く知ることができ、美味しい元祖盛岡冷麺を食べ、小岩井農場の一本桜、お神楽を楽しみ、硫黄の匂いのする温泉に入浴、行き先ざきでカメラやビデオに「はい乙女たち並んで撮りますよ。イチ(1)たす(+)二(2)は???、ゴ(5)ひく(-)サン(3)は????……ニー(2)なんてね。発売されたばかりのDVD「アナと雪の女王」を見せて下さったりして何一つ取りこぼしなく案内して下さい感謝です。もう二度とこのような一日に出会えるとは思えません。CDから流れる声、作詞の言葉を読んでも工藤さんの人柄が忍ばれます。神楽衆の方も工藤さんの柔和なお顔の中の目の奥の一瞬の眼力を感じました。これからも元気に活躍されることを願っております。

本当にお世話になり心より感謝、感謝です。

ありがとうございました。

74歳元乙女であった「はま」ちゃんこと、観光組 担当 浜崎 敏子

記

現地では昼食やおにぎり弁当を作ってくださいました方や直会で用意して下さった蕎麦等豪華な刺し身の盛り合わせ、ビールやお酒の差し入れ、宿を貸して下さい、せんべいのおみやげまで頂きお世話になりました。皆様の親切と笑顔は忘れません。ありがとうございました。

この企画をされた会長、明朗会計の品川さん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



↑啄木と一緒に。伊藤ユリ子さんと浜崎さん

早池峰&神楽ツアー 3日間のおもてなし、皆さんありがとうございました。



19日《早池峰と賢治展示館》にて 01



19日《早池峰と賢治展示館》にて 02



19日《藤原邸》にて中央右 工藤和雄さん



20日《早池峰山 登り 01》07:23



20日《早池峰山 登り 02》08:20



20日《早池峰山 下り》09:36



20日《早池峰神楽 - 三番叟》



20日《早池峰神楽 - 八幡舞》



20日《早池峰神楽 - 権現の舞》



21日《小償付近の散策》05:35



21日《えさし藤原の郷 01》10:38



21日《えさし藤原の郷 02》11:32

2014年9月山行の案内

籠ノ登山

360 度に開けた眺望で北アルプスの山々と八ヶ岳に富士山と近くには浅間山が見えて、夏から秋にかけての高山植物にも恵まれた尾根歩きが楽しいはずです。長野県と群馬県の県境にある東籠の登山と西籠の登山の2つの山を歩きます。

【日時】9月7日(日)

【集合】せんげん台 5時45分 春日部 6時00分

【持ち物】昼食、雨具、入浴セット、ストック、登山靴、登山手袋

【入浴】湯の丸高原から高峰高原にかけての立ち寄り湯

【申込み】既エントリーと8月キャンプ時受付の方で
8月12日現在で定員です。

参加者 伊藤マ、品川、佐藤き、藤井、松島、市川、小倉、伊藤ユ、岡本ヤ、北山、久保谷、酒井、清水、杉崎ト、杉崎キ、知名、戸邊、中島、松沢、宮腰、村田ト、村田ス、渡辺、吉田、吉村、下田、中瀬、足立(計28人)

籠ノ登山→

